

中小企業景況調査報告

(第4四半期)

平成31年1月～3月期実績

平成31年4月～6月期予測

平成30年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

1.調査要領

(1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、平成29年度版統計ふくやまによると1,315社であり、内訳は建設業162件 製造業276件、小売・サービス業314件となっている。

(2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

(3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

(4) 調査機関

平成31年1月～3月期実施

(5) 調査時点

平成31年3月1日

(6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）*DI値のみ

業種	今期の状況 (平成31年1月～3月)		次期の見通し (平成31年4月～6月)
	前年同期 (平成30年1月～3月)に比べて	前期 (平成30年10月～12月)に比べて	次期 (平成31年1月～3月)に比べて来期の 見通し
製造業	±0	±0	±0
建設業	±0	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

製造業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数3社

状況	今期の状況 (平成31年1月～3月)		次期の見通し (平成31年4月～6月)
	前年同期 (平成30年1月～3月)に比べて	前期 (平成30年10月～12月)に比べて	次期 (平成31年1月～3月)に比べて 来期の見通し
好転	0	0	0
不変	3	3	3
悪化	0	0	0
D・I	±0	±0	±0
増加	1	0	/
不変	2	3	
減少	0	0	
D・I	33.3	±0	
増加	1	0	
不変	2	3	/
減少	0	0	
D・I	33.3	±0	
増加	2	1	
不変	1	2	
減少	0	0	/
D・I	66.7	33.3	
好転	0	0	
不変	3	3	
悪化	0	0	
D・I	±0	±0	/
上昇	2		
不変	1		
低下	0		
D・I	66.7		
好転	2		/
不変	1		
悪化	0		
D・I	66.7		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

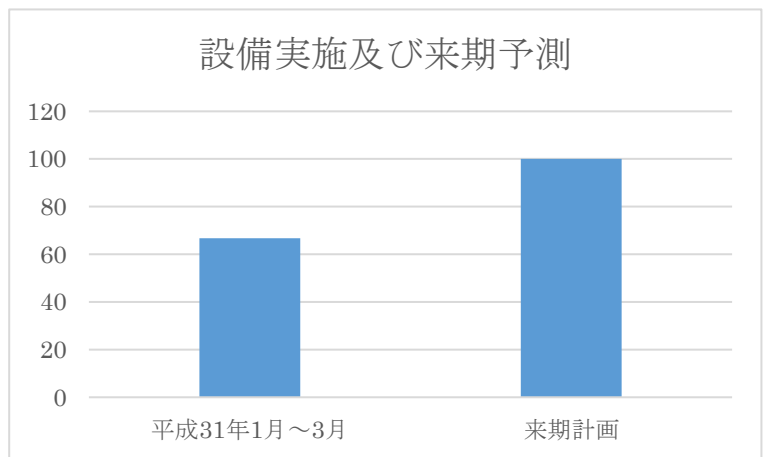
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期 66.7%実施。

【来期計画内容】

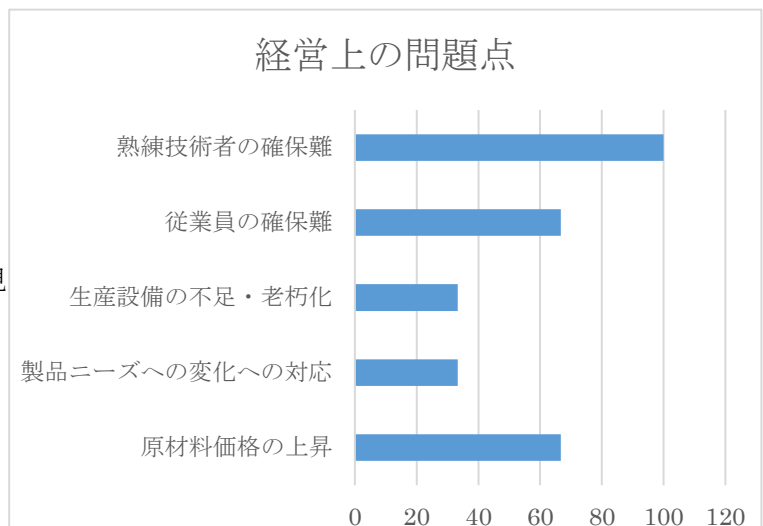
回答事業所の内、来期 100%計画。

●生産設備=100%



○今期の経営上の問題点

今回1位は、「熟練技術者の確保難」
「従業員の確保難」と人にまつわる課題が多い。「製品ニーズへの変化の対応」と伴い、「生産設備の不足・老朽化」等、取引先より求められる要求が多様化し、現有設備だけでの対応が厳しい状況にある。



建設業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (平成31年1月～3月)		次期の見通し (平成31年4月～6月)
		前年同期 (平成30年1月～3月)に比べて	前期 (平成30年10月～12月)に比べて	次期 (平成31年1月～3月)に比べて来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
受注 (新規契約工事)額	増加	1	/	/
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
材料仕入単価	増加	2	/	/
	不変	0		
	減少	0		
	D・I	100.0		
資金繰り	好転	1	1	/
	不変	1	1	
	悪化	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	1		
	悪化	0		
	D・I	50.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

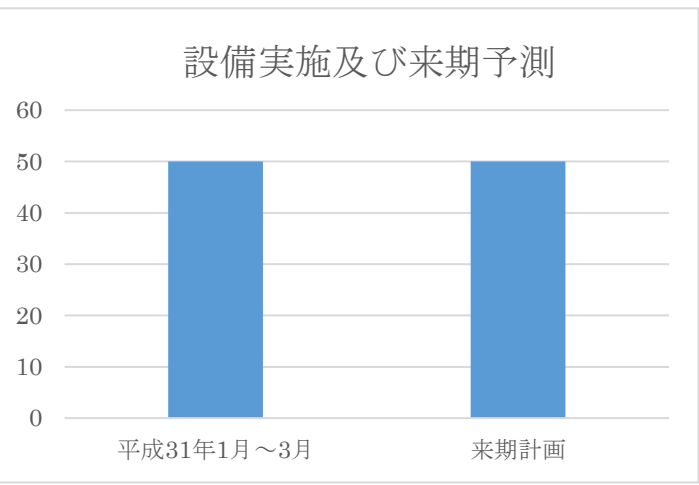
【今期実施内容】

回答事業所の内、今期 50%実施。

【来期計画内容】

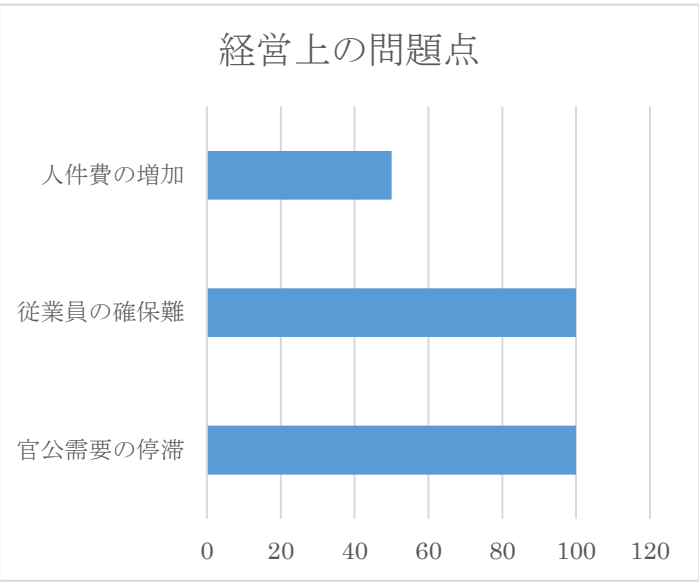
回答事業所の内、来期 50.0%計画。

- 土地=50.0% ●工場建物=50.0%



○今期の経営上の問題点

今回「従業員の確保難」及び「官公需要の停滞」が上位に上がり、「人件費の増加」の意見が多かった。



小売業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数5社

項目	状況	今期の状況 (平成31年1月～3月)		次期の見通し (平成31年4月～6月)
		前年同期 (平成30年1月～3月)に比べて	前期 (平成30年10月～12月)に比べて	次期 (平成31年1月～3月)に比べて来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	3	0	/
	不変	2	4	
	減少	0	1	
	D・I	60.0	▲20.0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	4	4	
	低下	1	1	
	D・I	▲20.0	▲20.0	
商品仕入単価	上昇	3		/
	不変	2		
	低下	0		
	D・I	60.0		
商品仕入額	増加	1		/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	20.0		
商品在庫数量	増加	0		/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	4	
	悪化	0	1	
	D・I	±0	▲20.0	
採算 (経常利益)	好転	1		/
	不変	4		
	悪化	0		
	D・I	▲20.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施無し。

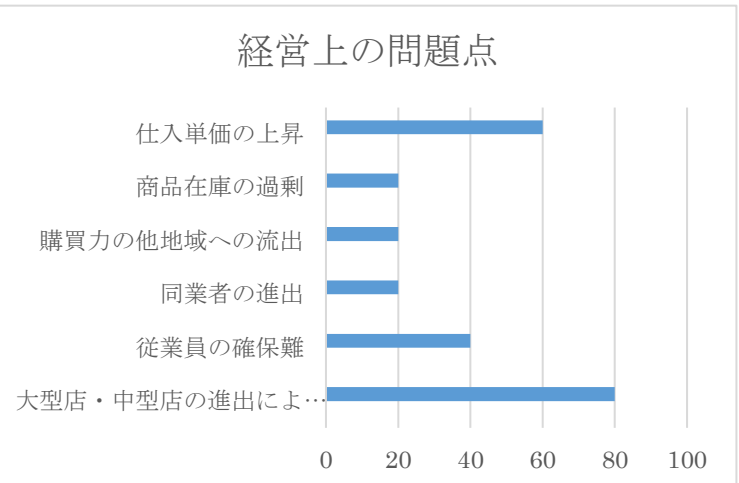
【来期計画内容】

回答事業所の内、来期計画は無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「仕入価格の上昇」などの意見を多くいただいた。また、「従業員の確保難」を懸念される声も多くだされた。



サービス業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数5社

項目	状況	今期の状況 (平成31年1月～3月)		次期の見通し (平成31年4月～6月)
		前年同期 (平成30年1月～3月)に比べて	前期 (平成30年10月～12月)に比べて	次期 (平成31年1月～3月)に比べて来期の 見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	1	0	/
	不変	4	5	
	減少	0	0	
	D・I	20.0	±0	
客単価	上昇	1	0	/
	不変	4	5	
	低下	0	0	
	D・I	20.0	±0	
仕入単価(材料等)	上昇	0	/	/
	不変	5		
	低下	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

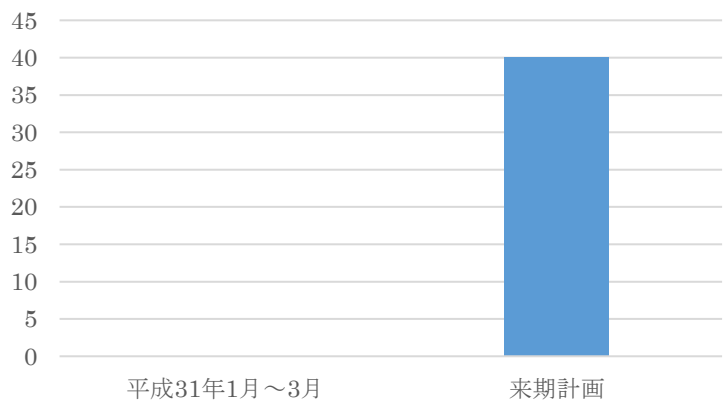
回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期 40%計画。

●サービス設備 100%

設備実施及び来期予測



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「熟練技術者の確保難」がもっとも多く、更に「従業員の確保難」など人の確保に対する意見が多くいただいた。

経営上の問題点

